

中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス2014特別展  
Collective Memories — 記憶の集積 —

会期	2014年3月21日[金・祝]-5月31日[土]
開館時間	10:00-17:00(「いちほらアート×ミックス」会期中、土日祝は延長あり・入場は閉館の30分前まで)
休館日	5月12日(月)、19日(月)、26日(月)
料金	いちほらアート×ミックス2014 作品鑑賞パスポートにて入館可 美術館のみの場合:1000円(800円)、大高生800円(600円)、中学生以下・65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 上記料金で入館当日に限り、同時開催中の常設展もご覧いただけます。
主催	市原湖畔美術館、中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス2014実行委員会
助成・協賛	OCA [Office for Contemporary Art Norway], 扉画廊



Alfredo&Isabel Aquilizan "The Eighth Fleet: Project Another Country" 2010年  
(作品イメージ)



## 展覧会概要

この度、市原市南部を会場に、「中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス2014」が開催されます。同芸術祭の中核施設となる当館では、特別展「Collective Memories—記憶の集積—」を開催いたします。参加作家は、アルフレド&イザベル・アキリザン、リン・テンミャオ（林天苗）、ストール・ステンスリーの3名。人々、地域の持つ複数の記憶、物語、知恵、夢、歴史の提示を試みる3つの新作インスタレーションを発表します。

## 参加作家略歴

### アルフレド&イザベル・アキリザン (Alfredo&Isabel Aquilizan)

フィリピン生まれ、現在はオーストラリアを拠点に活動。多様な素材を使用した、サイトスペシフィック・インスタレーション作品を中心に制作。各国にて地域コミュニティをベースにしたコラボレーションプロジェクトを数多く行う。近年の参加プロジェクトにシャルジャ・ピエンナーレ、モスクワ・ピエンナーレ、「In-Habit:Project Another Country」(金沢21世紀美術館)など。

### リン・テンミャオ (林天苗 /Lin Tianmiao)



中国・山西省生まれ。首都師範大学美術科、ニューヨークアートステュデントリーグ卒業。現在、北京在住。2012-13年にGalerie Lelong (ニューヨーク、パリ)、2012年北京芸術センターにて個展。近年のグループ展に、2013年杭州ファイバーアートトリエンナーレ、カリフォルニア・パシフィック・トリエンナーレ、2011年「The Couple Show」(上海)など。

### ストール・ステンスリー (Stahl Stenslie)



ノルウェー生まれ。実験的なメディア・アート、インタラクティブ・アートを中心としたアーティスト、キュレーター、研究者。現在、オスロを拠点に活動、デンマーク・オールボー大学教授。世界を知覚する方法についてのアートと表現に焦点を当てて制作。シグラフィ、アルス・エレクトロニカ等で展示およびレクチャーを行う。



新作イメージ・  
広報用画像一覧



1. Alfredo&Isabel Aquilizan "Passage The Eighth Fleet: Project Another Country" 2011  
アルフレド&イザベル・アキリザン「Passage The Eighth Fleet: Project Another Country」2011年(作品イメージ)

本展では、展示室の吹き抜け空間を用いたインスタレーションを発表。リサイクル・ボートを約10艘逆さまに設置し、その下に子どもたちをはじめとする地域の人々がダンボールで作った「夢の家」をつけて、街をみてる。地域の古い舟運にも焦点をあてる。



2. Lin Tianmiao "More or less the same" 2011年(作品イメージ) Photo: Yang Yuguang  
リン・テンミャオ「More or less the same」2011年(作品イメージ) Photo Yang Yuguang

本展では、市原市内で廃校になった小学校で使われていた道具たちと、これまで中国で制作してきた合成樹脂でできた骨を組み合わせたオブジェクトを制作。美術館壁面を大きく使ったインスタレーションとなる。



3. Stahl Stenslie "Image for 'Ichihara Tales'" (作品イメージ)  
ストール・ステンスリー「"いちはら物語"のためのイメージ」

本展では、市原という地域の伝説・言い伝えを集めたサウンド・インスタレーションを発表。展示室の空間で何処からともなく地域の物語が聞こえてくることになる。

## アクセス

所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約90分

(市原鶴舞バスターミナル経由、タクシー・土日祝のみ接続の路線バスにて約5分)

※いちほらアート×ミックス開催中は、便利な周遊バスが運行してま  
す。詳細は、[www.ichihara-artmix.jp](http://www.ichihara-artmix.jp) をご参照ください。



## 広報についてのお問い合わせ

市原湖畔美術館 担当：渡辺

tel: 0436-98-1525 fax:0436-98-1521

press@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

